

# 令和3年度 第1回川口市文化財保護審議会 議事録

日 時：令和4年3月18日（金）

場 所：書面開催

出席者：青木 義脩、有元 修一、黒津 高行、後藤 治、鈴木 淳、鈴木 誠、田村 均、  
西沢 淳男、林 宏一、三田村 佳子

欠席者：なし

## 1 議事

- ・市指定有形文化財三ツ和遺跡出土木簡付関連資料の県指定に伴う指定解除について
- ・市指定無形民俗文化財八幡木ばやしの指定解除について

委員定数の過半数による出席（書面表決書の提出）があったことから、会議が開催されたものと認められた。

また、議事について表決いただいた結果、賛成が出席者の過半数を得られたことにより、下記のとおり決定された。

### 【質疑・意見】

別紙のとおり

### 【表決結果】

賛成	10名
反対	0名

## 2 報告事項 令和3年度文化財保護事業報告について

別紙のとおり質疑・意見があった。

## 第1回 川口市文化財保護審議会質疑及び意見に対する回答一覧

議事等	No.	質 疑 ・ 意 見 の 内 容	事 務 局 か ら の 回 答
1 議事 ・市指定有形文化財三ツ和遺跡出土木簡付関連資料の県指定に伴う指定解除について	1	なし	
1 議事 ・市指定無形民俗文化財八幡木ばやしの指定解除について	1	八幡木ばやしについて、この無形文化財の保全はされているのかどうか、いわゆる映像その他の形で保存されているのかを伺いたいです。	八幡木ばやしの記録につきましては、演奏を録音したテープが保存されています。また、使われていた道具につきましては、市指定有形民俗文化財「八幡木ばやしの神楽面・衣装・楽器」として文化財センター分館 郷土資料館にて保存及び展示をしています。
	2	誠に残念ですが、他の無形民俗文化財指定物件についても改めてケアする必要があると思われまます。生活環境の変化を踏まえると消えて行くのは仕方ないと捉えるべきかも知れませんが、地域に息づく伝統が継承の危機に瀕しているのは誠に残念です。コロナ禍が続いているものの、継承の場（祭）や発表の機会（または練習の場）を出来るだけつくるなど、民俗芸能を継続する方策が求められているのではないのでしょうか。すでに指摘されていることですが、次世代への伝承のため市域の小学校との学びのリンクが大切だと改めて思いました。	ご指摘のとおり、他の市指定無形民俗文化財につきましても、後継者の問題は生じています。文化財課としましては、学校連携事業である「歴史教室」等を通じ、次世代を担う子供たちへの働きかけを行ってまいります。
2 報告事項 令和3年度文化財保護事業報告について	1	イ 文化財調査・記録事業 （ア）指定候補文化財調査 ・植木業の文化的景観調査について 進捗状況はどうでしょうか？	植木業の文化的景観調査につきましては、現時点での調査結果をまとめた報告書をまとめるところでございます。それを踏まえた今後の調査等につきましては、市民の皆様のご協力が不可欠となりますので、現在までの歴史等に関する調査成果等の普及を通じて、徐々に植木業の歴史等に対する関心を醸成していく予定です。
	2	イ 文化財調査・記録事業 （ア）指定候補文化財調査に関し、コンニャクギトウ調査の「コンニャクギトウ」とは何か。それがどのようなモノ（コト）なのか、そして候補対象となる文化財カテゴリー（例、市・民俗有形文化財）を教えてください。	「コンニャクギトウ」は鳩ヶ谷本町三丁目、昔は出戸（でど）と言われた地域で4月第2週の土曜日に行われている行事です。祭礼は、まず獅子頭三頭を町会会館に飾り、神官の祈禱に始まり、町会役員の拝礼を行います。その後、獅子頭三頭を軽トラックに乗せ、もう一台の車に太鼓を乗せ、各戸にお札とコンニャクの田楽を配りながら隣地区の境界まで行き、町会会館まで戻ってきて終了となります。候補対象となるカテゴリーは市指定無形民俗文化財を想定しています。
	3	イ 文化財調査・記録事業 （エ）調査報告書等刊行 ・植木業の文化的景観調査報告書 ・文化財マップ改訂版 について 報告書・マップを刊行しているのであれば両者について、審議会委員にもお分けください	「植木業の文化的景観調査報告書」「文化財マップ改訂版」につきましては、現在慣行に向けた作業をしておりますので、刊行次第速やかにお送りさせていただきます。